記事入稿ガイドライン

株式会社カービュー

2021年11月1日

目次

第 1 章　概要 1
1. 本ガイドラインについて 1
2. 記事及び関連リンク掲載の可否判断について 1
3. 配信停止、契約解除について 1
4. コンテンツパートナーの義務について 1

第 2 章 記事に関する禁止事項 3
1. 法令違反又は犯罪その他不当な行為を美化・助長する若しくは公序良俗に反する以下のようなもの等 3
2. **コンテンツパートナー自身又はコンテンツパートナーが提携する企業（以下、「自社」といいます）、若しくは、特定の商品やサービスの訴求に特化し、読者の購買意欲に働きかけ、直接的な反応を求めるもの、または、ステルスマーケティングに該当する以下のようなもの等** 3
3. ユーザーの利便性を害する以下のようなもの等 3
4. 社会規範、公序良俗に反するものや他人の権利を侵害し、又は、ユーザーに不快感を与え、他人の迷惑となる以下のようなもの等 4

第 3 章 関連リンクに関する禁止事項 6

第 1 章　概要

1. 本ガイドラインについて

本ガイドラインは、当社が運営するサイトに掲載するテキスト・画像等の記事（以下、「記事」といいます）並びに記事文中リンク及び記事直下の関連リンク（以下、「関連リンク」といいます）に適用されます。
当社が運営するサイトに掲載する記事及び関連リンクを提供する情報提供元（以下、「コンテンツパートナー」といいます）は、本ガイドラインを遵守する必要があります。

2. 記事及び関連リンク掲載の可否判断について

当社は、本ガイドラインに基づき、個別に記事及び関連リンク掲載の可否を判断します。
当社の個別の判断により、本ガイドラインを満たしている場合でも記事及び関連リンク掲載をお断りすることがあります。また、法令に違反する記事又は関連リンクはいかなる場合も掲載をお断りします。本ガイドラインを満たさない場合でも、記事又は関連リンク掲載を認める場合があります。いずれの場合でもその理由について回答することはできない場合があります。

3. 配信停止、契約解除について

コンテンツパートナーから入稿された記事又は関連リンクが本ガイドラインへの抵触を発見した場合、当社は、コンテンツパートナーに対して、当該抵触記事又は関連リンクの修正を要求、若しくは、何らの通知又は催告なく、債務不履行責任、損害賠償責任等の一切の法的責任を負うことなく当該抵触記事又は関連リンク掲載の全部又は一部を停止し、入稿ツール等の全部又は一部の提供を停止することができます。この場合において、コンテンツパートナーの責めに帰すべき事情の有無にかかわらず（誤配信等を含む）、当社は、コンテンツパートナーとの契約を即時に解除し、それによって生じた損害の賠償をコンテンツパートナーに請求することができるものとします。
また、掲載記事の適切性について事実を知り得る者又は真偽の確認ができ得る者（以下、「関係当事者」といいます）から疑義が示され、当該関係当事者がプレスリリースや公式サイト等において掲載記事が事実と異なると表明した場合、当社は、当該異議を関連記事と併せて掲載する、又は、当該記事の掲載を停止することができるものとします。

4. コンテンツパートナーの義務について

(1) コンテンツパートナーは、以下の義務を負うものとします。
① 一方的な告知やPRではなく「読者の役に立つ、便利につながる」独自の情報や視点がある記事及び関連リンクを提供しなければならず、大部分が引用のみで構成される記事、又は、記事及び関連リンクを閲覧するユーザー（以下「ユーザー」といいます）にとって、客観的かつ中立的な価値を信頼する期待を裏切る可能性がある記事または関連リンクを入稿しないこと

② 記事内容に読める部分や情報量がしっかりとあり、一定以上の適時性及びユーザーが楽しめる要素が十分に含まれこと

③ 以下の記事に関し、編集意図をもってまとめられ価値がある内容が含まれていること

・サイトのトップページやインデックスページ等、目次や見出し的役割の記事

・カタログページ等、商品やサービスを整理して書き並べた記事

④ まとめ記事の場合、人による価値判断を経たものであること、又は、ストーリーがあり、まとめることで、ユーザーにとって"新たな価値"が生まれていること

⑤ コンテンツパートナーと関連する人物・団体とに利害関係がある事象を扱う際に、記事内に関係性の明示すること

⑥ 記事の内容と関係のない宣伝、広告又はお知らせへの関連リンクを設定し、故意にユーザーを誘導してはならないこと

(2) 当社が第三者から掲載記事又は関連リンクに関するクレームを受けた場合、コンテンツパートナーの責任と費用でこれを解決し、コンテンツパートナーは当社から為された合理的な要求（著作権者への連絡代行や侵害調査などを含む）に迅速的に対応するものとし、当社にいかなる迷惑も及ぼさず、また、当社が被った損害（弁護士費用を含む）を補償する必要があります。

第 2 章 記事に関する禁止事項

コンテンツパートナーは、以下のようなコンテンツを含む記事は入稿してはならないものとします。

1. 法令違反又は犯罪その他不当な行為を美化・助長する若しくは公序良俗に反する以下のようなもの等
   (1) 犯罪を容認していると捉えられかねないもの、犯罪の手段等を必要以上に詳細に表現する等、犯罪を誘発・助長する恐れのあるもの
   (2) 明らかに法律に違反しているもののほか、適法性がグレーなもの
   (3) サービスそのものは適法であっても、公正な運営が難しいサービスを推奨するもの（ペニーオークション等）
   (4) 反社会的勢力との関わりがあるもの

2. **コンテンツパートナー自身又はコンテンツパートナーが提携する企業（以下、「自社」といいます）、若しくは、特定の商品やサービスの訴求に特化し、読者の購買意欲に働きかけ、直接的な反応を求めるもの、または、ステルスマーケティングに該当する以下のようなもの等**
   (1) 自社の商品やサービスを推奨していると認められるもの（自社コンテンツの販売につなげる目的で、その内容を記載して紹介しているもの、自社コンテンツの内容を記事中で紹介する一方で、その内容を完結させず、自社サイトで全体を読ませることを企図したもの等）
   (2) 特定の商品やサービスを紹介、推奨するものであって、以下のいずれかに該当するもの
      ① 主として商品等の情報（機能や内容、価値等）や店舗情報（住所、電話番号、HPアドレス）からなり、情報としての価値の認められないもの
      ② 商品の購入やサービス申し込みの等のページへ直接誘導するもの、その他商品の購入等をことさらに 勧めていると認められるもの
      ③ 第三者が中立的に評価していると誤認させるもの又は金銭その他の利益を受けて作成されたもの
   (3) 以下の目的により制作されたもの
      ① 広告主や広告代理店、PR会社等又はこれらの関係者（以下、「広告主等」といいます）から直接的又は間接的に利益を得るもの
      ② 寄付・募金、謹告、意見広告、プレスリリース、イベント告知等広告的対価を受け取って作成され企画、編集、制作等に広告主等の意図を反映するもの
      ③ 商品やサービスの仕様等の情報のみを羅列している等、資料請求や購入・申込等ユーザーの直接的な反応のみを目的としたもの
      ④ SEO（Search Engine Optimization）を目的とするもの

3. ユーザーの利便性を害する以下のようなもの等
   (1) 正確性に欠けるもの、又は、事実誤認・事実誇張があるもの
      ① 全部又は一部につき虚偽又は重大な事実誤認を伴う、又は、事実を誇張しているもの
      ② 全部又は一部が真実性を欠き、根拠又は事実証明の記載が不十分であるもの
      ③ 過度に推奨・非推奨する表現を用いるもの、又は、その客観的な根拠が薄いもの

(2) 時事性を伴う内容にも関わらず時機を逃して配信することにより誤解を与えかねないもの
(3) 記事の見出しにおいて、下記を含み、記事内容を不明確に表現することにより、ユーザーに誤解を与え、ユーザーの期待や信用を裏切る恐れのあるもの
① 過度な釣り表現を用いた見出し、又は、見出しと内容が一致してないもの
② 見た目や表現、内容がくだけすぎているもの（意図が伝わり難い又は「●●」等の伏字や「あれ」「これ」「それ」「あの」等の指示語や記号、ネットスラング、伏せ字又は隠語を含まないこと等を多用し、記事の内容を隠してあるもの
③ 表現が古くさい又は情報が整理されておらず、何を伝えたいコンテンツなのか判別できないもの
④ 煽り文句や性を露骨に連想させる表現を使用しているもの等
(4) 下記を含み、言語・文法に問題のあるもの
① 文法上の誤りや誤字脱字が多いもの
② 日本語が主体となっていないもの
③ 文字化けや表示崩れがあるもの

4. 社会規範、公序良俗に反するものや他人の権利を侵害し、又は、ユーザーに不快感を与え、他人の迷惑となる以下のようなもの等
(1) 人命を軽視するもの、自殺又は自傷行為やいじめを誘発、助長する恐れのあるもの
(2) 権利を侵害するもの
① 人種、民族、皮膚の色、性、言語、宗教、政治上その他の意見、国籍もしくは社会的出身、財産等について差別的表現を含むもの、又は、差別を助長する恐れのあるもの、人権を侵害する又は人権への配慮が欠けるものもの
② 誹謗中傷、名誉棄損等人権を侵害するもの
③ パブリシティ権、名誉権、プライバシー権、肖像権又はその他の権利を侵害するもの
④ 著作権（著作権及び著作隣接権を含む）や商標権等の知的財産権を侵害するもの
⑤ 個人情報の取得、管理、利用等に十分な配慮がされていないもの
(3)ユーザーに不快感や嫌悪感を与えるもの
①極端な暴力シーン（殺戮、手足がもげる、内臓が出る等）やショッキングなシーン（自殺・虐待等）が扱われているもの
②いわゆるグロ画像や蓮コラに類するもの
③その他多数のユーザーに強い不快感・生理的嫌悪を与え、又は、その恐れがあるもの
(4)過剰な表現によって性を露骨に連想させたり、不快感や嫌悪感を与えたりする等、品位に欠けるものや未成年に悪影響を及ぼす恐れのあるもの
(5)銃器、弾薬、トイガン、刀剣等の刃物、催涙スプレー、スタンガン等を販売、もしくは美化・推奨するもの
(6)健康・医療情報において、薬機法、医療法、医師法、健康被害等の利用者に不利益を及ぼす恐れのあるもの、又は、正確性、不十分な表現により信頼性に欠けるもの
(7)掲載のタイミングが悪い、時節に合わないもの
①災害や事件・事故が発生し、死去した人や被害者への配慮が著しく欠けたもの
②災害や大火、テロや疫病、その他のインシデントが発生し世の中の注目が高まった状況で、配慮無く連想可能な商品を扱うもの
③時事要素を含むもので、掲載時期が不適切なもの
(8)中立性・バランスを欠くもの

① 特定の思想・宗教等に肩入れして表現したもの
② 政治的公平性を極端に欠くもの
③ 公職選挙法上の選挙運動に該当するもの
④ 特定の個人、団体、政党、宗教、企業、ブランド等を必要以上に攻撃・批判するもの、又は、過剰に推すもの
⑤ 特定の商品・企業について社会的不安を煽るもの（「これを買ってはいけない」等）
⑥ 対立する意見があるものについて、片方の意見ばかりを殊更採り上げ推すもの
⑦ 全国に一律掲出される枠において、首都圏等特定の地域の情報に限られる等地域的な偏りがあるもの
⑧ その他、個人や団体、企業等が偏った主義、主張、意見を訴えるもの

(9) その他不適切なもの
① アルコール飲料やたばこ類に関するもの
② 他メディアの内容を転載したもの又は他メディアからの引用範囲が明確でないもの
③ 詐欺的なもの又はいわゆる悪質商法とみなされるもの
④ 投機心を著しくあおる表現のもの
⑤ 非科学的又は迷信に類するもので、利用者を惑わせる又は不安を与えるもの
⑥ 醜悪、残虐、猟奇的等で不快感を与えるもの
⑦ 業界で定めるガイドライン等に違反し、又は、違反する恐れのあるもの
⑧ その他当社が不適切と判断したもの

第 3 章 関連リンクに関する禁止事項

コンテンツパートナーは、記事内に関連リンクを含める場合、関連文言等を添えて十分に補足し、どういったページに遷移するのか及び遷移先での体験がユーザーに誤解なく伝わるよう明示するものとし、以下のような関連リンクを提供してはならないものとします。

1. 資料請求や購入、申し込みページ等商用利用、プロモーションサイト、商品購買又は商品の購買を煽るサイトへのリンク
2. 記事内容に直接関係しないコンテンツへのリンク
3. アフィリエイト、会員登録ページ、有料サイト等へのリンク
4. 「応募ページ」、「キャンペーンページ」、「プレゼントページ」、 「会員登録ページ」、「記事広告」等への誘導リンク
5. 「続きはこちら」、「詳細はこちら」等、コンテンツパートナー又は広告主等が運営するサイトへ誘引して、記事の続きを読ませるリンク
6. 有害なサイトや公序良俗に反するサイト、著作権の所在が明らかではないサイトへのリンク
7. 広告主等から直接的又は間接的に利益を得るものための遷移リンク
8. その他、当社が不適切と判断した関連リンク